

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。



村上さんのところ / 村上 春樹 (著) ¥1,404-

-Amazonより内容紹介-

選りすぐりの名問答をセレクトして、フジモトマサルのイラストを加えた愛蔵版何度でも読み返したい「人生の常備薬」。

期間限定サイト「村上さんのところ」上で、村上春樹が3か月半にわたって続けた回答は、じつに3765問! その中から、笑って泣いて考えさせる「名問答」を473問を村上さんご自身がセレクトし、可愛くてちょっとシュールなフジモトマサルのイラストマンガ約51点を加えた待望の書籍版!

◎人の振り見て我が振り直せ!

僕がサラリーマン時代、他人が上司から怒られているところを見ると、「やべー、あれをやったら怒られるんだ、気をつけよ。」とか、「ふー、自分はばれないうちに片付けよう」という、人がやっていることを客観的に自分に当てはめて考えていることが多々ありました。この本は一般の人が、村上春樹さんに質問をして、その質問に村上さんが答える、というコーナーを本にしたものです。他人の質問なんて自分に関係ないじゃん! と思っているそこのあなた。そんなことはありません。冒頭の僕の事例のように、「人の振り見て我が振り直せ」という発見が満載です! お腹いっぱいボリュームなので、僕は毎日夜に酒の肴としてゆっくり読みました(^^♪ では、ひとつ面白かったQ&Aをご紹介します。

質問「自分のことが好きになれません、どうしたら好きになれますか?」**回答**「自分のことを好きになる必要なんてありません。誰がそんなこと決めたんですか? まず自分に何ができるか考えて下さい。そしてそれを、少しでもいいからやってみてください。手と身体を動かして、それから自分のことが好きになれるか考えてみてはどうですか?」

良い回答ですね!! 世の中を見渡してみると、たまにこれは誰かが操作しているんじゃないか? と思うことが多々あります。この質問も「自分を好きでないとイケない」という部分は操作主義的な雰囲気伝わってきます。ちなみに僕は自分の事を自分で好きだと思いますが(笑)、それはそれでただの結果論で、個人差があります。そりゃ僕だって嫌いなところはいっぱいありますよ(笑) ここで言いたいのは、周りの価値観に振り回されるのは疲れるので、自分の価値観をしっかり持ちたいと、考えています。

僕が思うに、村上さんは他人に興味がありません。これは良い意味で。しかし、その分自分としっかり向き合っている感じが、この本から伝わってきます。それが分かる言葉が、同業者や評論家などから本の批判は、村上さんは「見ないようにしている」とのことでした。そして、村上さんは他人の本の批判(評価)もしないし、人の邪魔をしない、とのこと。この気分って分かるよなー。ビジネスでは同業者の動向というのは誰しも気になるでしょう。僕自身も気になりますかね……。多少は(笑)市場調査であればいいんですが、気になり過ぎて、妬むまで行き過ぎないようにしなければいけません。前を進んでいる人を、妬んだり、足を引っ張ったりせずに、自分が進むしかありません。書いてて胸が痛いですね(泣)村上さんみたいに、日本文学の中でトップの人の言葉を聞くと引き締まります。この本を読むと、仕事に対する愛情がジワジワ湧いてきました(*^_^*)